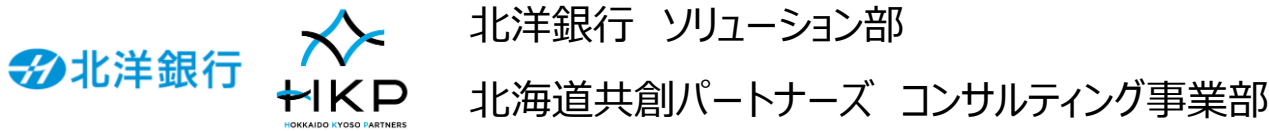


タチノグループさま サステナビリティ経営への取り組み



タチノグループさまが設定した目標・KPIは順調に進捗しています。

コア・インパクトとして特定した「豊かな都市・インフラ維持への貢献」では、事業承継に向けた積極的対話や、BCP策定に向けた取り組みの実施を確認しており、インパクトの創出を確認しています。

社会面として設定した「働きがいのある組織づくりによる雇用の創出」では、積極的な賃金増加や、健康経営、福利厚生 の充実を進めており、インパクトの創出を確認しています。

環境面として設定した「脱炭素社会への貢献」では、温室効果ガス（GHG）の排出量算定に向けたツールの導入や、削減に向けた取り組みとして再生可能エネルギー導入の検討、省エネルギーに貢献する小型重機の導入などを確認しています。

今後も、インパクトに基づく目標・KPIの達成に向けた企業活動を通じて、インパクトの創出が期待されます。

SDGs達成とインパクトへの取り組み

豊かな都市・インフラ維持への貢献：コア・インパクト

- タチノグループさまでは豊かな都市・インフラの維持に貢献するため、後継者不在などで事業承継に課題を持つ事業者との積極的な対話を進めています。
- 災害発生時にも生コンの供給体制を継続するため、事業継続計画（BCP）の策定を進めています。2024年度は、災害時における工場の稼働体制などの確認・整理を実施しています。今後もBCP策定に向け取り組みを進めることを確認しています。

取組内容	K P I実績	K P I目標
後継者不在などで事業継続に悩む同業他社の事業承継により豊かな都市・インフラ構築への貢献を拡大していく	生コンシェア変動なし（十勝22.3%、釧路14%）	2030年度までに事業承継によりタチノグループの事業エリアにおける生コン供給のシェアを拡大していく（2024年時点共同操業含め十勝地方22.3%、釧路地方14%）
	事業エリア変動なし（十勝、釧路の2エリア体制）	2030年度までに事業承継によりタチノグループの事業エリアを3エリア以上に拡大していく（現状、十勝地方・釧路地方の2エリアで事業展開）
災害時における地域のインフラ再建への備えを行う	策定中	2026年度までにタチノグループの生コン工場事業継続計画（BCP）を策定する

働きがいのある組織づくりによる雇用の創出：インパクト

- 2024年度は、継続的な賃金上昇に加え、人間ドックに関する制度づくりや、福利厚生充実を目的とした昼食補助制度（チケットレストラン）の導入を実施しています。
- 今後は、更に働きがいのある職場を迫及していくため、健康経営優良法人の認定取得と、エンゲージメント調査の実施と継続的な従業員満足度の上昇を目指すことを確認しています。

取組内容	K P I実績	K P I目標
働きがいのある組織環境を迫及していくことで、都市・インフラ構築に必要な人材を維持していく	平均5%の賃金上昇を実施（2024年度全国消費者物価指数（総合指数）は2.7%の上昇）	物価上昇率を上回る賃金増加を継続していく
	制度新設済	2025年度までに人間ドック受診料補助制度を新設する
		2027年度までに健康経営優良法人の認定を取得する。
	昼食代補助制度としてチケットレストランを導入	2025年度までに昼食代補助、社内コンビニを整備する
		2027年度までにエンゲージメント調査を実施し、以降は定期的に調査を実施し、従業員満足度を継続して上昇させる。

脱炭素社会への貢献：インパクト

- 2024年度は、温室効果ガス（GHG）の可視化に向けたツールの導入を行い、GHG可視化を開始しています。
- 更に、具体的なGHG削減の取り組みとして、再生可能エネルギーの導入検討のほか、省エネルギーにつながる小型重機の導入などの実施を確認しています。

取組内容	K P I実績	K P I目標
事業活動により生じるGHG排出量を段階的に削減し、脱炭素社会の実現に貢献していく	GHG可視化ツールを導入し、測定を開始	2025年度までにタチノグループの温室効果ガス排出量を測定する
	再生可能エネルギーは未導入 2024年度はGHG削減に貢献する小型重機への切り替えなどを実施。	2026年度までに温室効果ガス排出量抑制のため、再生可能エネルギーを導入し、少なくとも年1%以上GHG排出量を削減していく